

事務局 技術部



サステナブルキャンパス※ 形成の推進

(※ 教育・研究・社会連携・キャンパス整備をとおして、持続可能な社会の構築に貢献する大学)

事務局

大学運営

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

【活動概要】

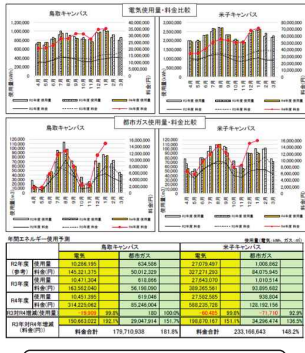
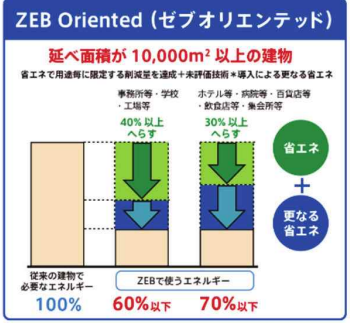
「鳥取大学環境憲章」及び「鳥取大学カーボンニュートラル宣言」に基づき、サステナブルキャンパスの形成を推進します。

省エネルギー及びカーボンニュートラルに向けた取組

ソフト的には学内エコアクションパトロールにより省エネ意識を高める他、光熱水の使用量を学内イントラネットに公表することによる省エネ情報共有をし、意識啓発しています。ハード的には現在ある機器(主に空調・照明)を高効率機器に更新し、また建物自体を高断熱化することにより省エネ・カーボンニュートラルに寄与しています。

省エネのために

不要時は、照明、エアコンを消してください。室温を冷房時24℃、暖房時19℃目安で調整願います。



カーボンニュートラルに資する改修工事

化学物質の適正管理

教育・研究においては、環境や健康に有害な化学物質を使用することがあるため、その適正管理を徹底するとともに、汚染防止に努め、大学及び地域の環境保全と健康被害の未然防止を図っています。このため、化学物質及び排水の管理に関して、定期的な研修会を開き、誤った化学物質の管理をしないよう、学内教育を行っています。

なぜ研修会が必要なの？
Why is the workshop needed?

私たちの大切な自然環境を守る
For protection of nature and environment

- 下水道法 (Sewerage Service Act)
- 水質汚濁防止法 (Water Pollution Control Act)

鳥取大学での取り組み

○鳥取大学排水管理規程 (Drainage Management Rules in Tottori Univ.)

少なくとも、教職員・学生は3年ごとに1回の受講が義務付けられています。President makes all members in Tottori Univ. attend the workshop on discharging water management.

必要措置: 保護眼鏡、不透水性の保護衣、保護手袋又は履物等、適切な保護具を使用させる。

努力義務 2023年4月1日施行
義務 2024年4月1日施行

【担当】 施設環境部

地域に根付いた科学啓発活動

鳥取大学発「出前おもしろ実験室」プロジェクト

技術部

社会貢献

4 質の高い教育をみんなに

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

【活動概要】

「出前おもしろ実験室」は、子どもたちに理科・科学への興味・関心を深めてもらうことを目的として行う出張形式の体験型科学実験教室です。技術部では、平成18年に「鳥取大学発『出前おもしろ実験室』プロジェクト」を立ち上げ、これまでに延べ7000人以上の子ども達に科学のおもしろさ・楽しさを伝えてきました。小中学校だけでなく、特別支援学校や聾学校、保護者からの実験室開催依頼や、小学校教員からの授業支援・教員向け研修会の依頼が多く寄せられており、広く科学教育に貢献し、地域のイベントや公民館事業を通して「理科好き」の子どもが育つ環境づくりに寄与しています。技術職員が持つ化学、電気、機械等の様々な分野の専門知識を活用した「出前おもしろ実験室」を提供することで、子どもたちに科学や工学、ひいては鳥取大学の魅力を発信しています。更に、アート要素のある科学工作やロボットのプログラミング体験などを試み、STEAM教育を目指しています。

また、プロジェクトに興味を持った本学学生とともに活動しており、子どもたちへの実験指導や実験教材の開発、研究会への参加などを通して本学学生の科学力・人間力向上につなげています。



小学校での実験室の様子



中学校での実験室の様子



小学校教員向け研修会の様子

【担当】 技術部

